

発寒清掃工場更新事業
環境影響評価方法書

令和6年8月

札幌市

目 次

	ページ
第1章 対象事業を実施しようとする者の名称、代表者の氏名及び主たる 事務所の所在地 -----	1-1
1 対象事業を実施しようとする者の名称 -----	1-1
2 代表者の氏名 -----	1-1
3 主たる事務所の所在地 -----	1-1
第2章 第一種事業の目的及び内容 -----	2-1
1 事業の目的 -----	2-1
2 事業の名称及び種類 -----	2-1
3 事業の実施区域の位置・規模 -----	2-1
4 事業の計画の概要 -----	2-3
(1) 事業において処分する廃棄物の種類 -----	2-3
(2) 事業の背景・経緯 -----	2-3
ア 廃棄物処理施設におけるごみ処理の現状 -----	2-3
イ ごみ排出量の推移 -----	2-5
ウ ごみ減量の取り組み -----	2-6
(3) 事業の必要性及び計画の概要 -----	2-8
ア 事業の必要性 -----	2-8
イ 計画の概要 -----	2-8
ウ 複数案の設定と施設配置計画 -----	2-9
エ 余熱利用計画 -----	2-11
オ 現工場と計画する新工場との比較 -----	2-11
カ 公害防止計画 -----	2-12
キ 廃棄物処理計画 -----	2-13
ク 収集運搬車両等の種類に関する計画 -----	2-15
第3章 事業実施区域及び影響範囲の概況 -----	3-1
1 設定した影響範囲及び設定の根拠 -----	3-1
(1) 設定した影響範囲及び設定の根拠 -----	3-1
(2) 影響範囲の概況 -----	3-9
ア 自然的状況 -----	3-9
イ 社会的状況 -----	3-9

2 自然的状況	3-10
(1) 地域の生活環境に係る項目	3-10
ア 公害全般	3-10
イ 大気に係る環境の状況	3-11
ウ 水に係る環境の状況	3-27
エ 土壌及び地盤の状況	3-40
オ その他	3-45
(2) 地域の自然的状況に係る項目	3-48
ア 地形及び地質の状況	3-48
イ 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3-56
ウ 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	3-68
3 社会的状況	3-84
(1) 地域の社会的状況に係る項目	3-84
ア 人口及び産業の状況	3-84
イ 土地利用の状況	3-86
ウ 河川、湖沼、地下水の利用状況	3-90
エ 交通の状況	3-91
オ 環境保全の配慮が必要な施設及び住宅の配置状況	3-95
カ 下水道の整備の状況	3-102
(2) 環境関係法律等に係る項目	3-104
ア 環境基本法に基づく環境基準及び類型指定状況	3-104
イ ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準の設定状況	3-113
ウ 公害の防止に関する法令に基づく区域の指定状況及び規制基準	3-114
エ 自然環境の保全に関する法令に基づく区域又は地域の指定状況	3-131
オ 土地利用の変遷	3-138
カ 資源等の保護・保存に関する法令に基づく 区域又は地域の指定状況	3-140
キ 一定の環境要素に係る環境の保全を目的として 法令等により指定された地域	3-143
(3) 国及び札幌市の環境保全に関する施策に係る項目	3-145
ア 新スリムシティさっぽろ計画 (札幌市一般廃棄物処理基本計画)	3-145

第4章	計画段階環境配慮書における影響検討結果及び	
	環境配慮の概要	4-1
1	計画段階環境配慮書における影響検討結果及び	
	環境配慮の概要	4-1
第5章	計画段階環境配慮書についての意見と事業者の見解	5-1
1	住民等からの意見及び事業者の見解	5-1
2	市長からの意見及び事業者の見解	5-2
第6章	環境影響評価項目の選定	6-1
1	環境影響評価項目の選定	6-1
第7章	調査、予測及び評価の手法	7-1
1	人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的 構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価 されるべき環境要素	7-1
(1)	大気質	7-1
1)	工事の実施	7-1
ア	建設機械の稼働	7-1
イ	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	7-6
2)	土地又は工作物の存在及び供用	7-14
ア	施設の稼働	7-14
イ	廃棄物の搬出入	7-24
(2)	騒音	7-26
1)	工事の実施	7-26
ア	建設機械の稼働	7-26
イ	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	7-31
2)	土地又は工作物の存在及び供用	7-37
ア	施設の稼働	7-37
イ	廃棄物の搬出入	7-42

(3) 振 動	7-48
1) 工事の実施	7-48
ア 建設機械の稼働	7-48
イ 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	7-53
2) 土地又は工作物の存在及び供用	7-59
ア 施設の稼働	7-59
イ 廃棄物の搬出入	7-64
(4) 低周波音	7-70
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-70
ア 施設の稼働	7-70
(5) 悪 臭	7-74
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-74
ア 地形改変後の土地及び工作物の存在	7-74
イ 施設の稼働	7-79
(6) 日照障害	7-84
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-84
ア 地形改変後の土地及び工作物の存在	7-84
(7) 電波障害	7-90
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-90
ア 地形改変後の土地及び工作物の存在	7-90
2 人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、予測及び 評価されるべき環境要素	7-97
(1) 景 観	7-97
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-97
ア 地形改変後の土地及び工作物の存在	7-97
(2) 人と自然との触れ合いの活動の場	7-103
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-103
ア 地形改変後の土地及び工作物の存在	7-103

3 環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持 を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	7-107
(1) 廃棄物等	7-107
1) 工事の実施	7-107
ア 切土工等及び施設の設置	7-107
2) 土地又は工作物の存在及び供用	7-109
ア 廃棄物の発生	7-109
(2) 温室効果ガス	7-111
1) 土地又は工作物の存在及び供用	7-111
ア 施設の稼働	7-111
第8章 調査、予測及び評価の手法の概要	8-1
1 人の健康の保護及び生活環境の保全、並びに環境の自然的構成要素 の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき 環境要素	8-2
2 人と自然との豊かな触れ合いを旨として調査、 予測及び評価されるべき環境要素	8-14
3 環境への負荷の回避・低減及び地球環境の良好な状態の保持 を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	8-16
第9章 手続きの経過の概要及び問い合わせ先	9-1
1 手続きの経過の概要	9-1
2 記載内容についての問い合わせ先	9-1
(1) 事業者の問い合わせ先	9-1
(2) 環境影響評価を委託した者の氏名及び住所	9-1
第10章 その他	10-1
1 文献及び資料の出典	10-1
(1) 事業の目的及び内容等に係る文献及び資料	10-1
(2) 調査、予測及び評価の手法に係る文献及び資料	10-4